

資料B-4 臨床薬学コース連携講座【履修モデル】

育成人材像：高度専門医療を熟知した臨床薬剤師の視点から、専門的薬物治療における諸問題を解決し、高度先端医療の実現に貢献できる優れた臨床薬剤師および臨床薬学研究者
 研究テーマ：高度専門医療における薬物療法の個別化に関する研究

薬学専攻博士課程	1年	臨床薬剤情報学特別実験研究	循環器薬物療法学特別実験研究	臨床薬学系先進特論 (2単位)	臨床薬剤情報解析学特論 (2単位)
	2年			先進特別講義 1 (3単位)	
				先進特別講義 2 (3単位)	
	3年			臨床薬学先進実務研修・臨床研究 実務研修、学会発表と その報告 (6単位)	
4年	10単位	10単位	論文審査	最終試験 (博士論文発表会)	

想定される就職先等：薬学専攻博士課程「臨床薬学コース」連携講座の学生は、連携講座の特別実験研究を専修科目とし、学内の講座の特別実験研究を必ず副専修科目として履修しなければならない。つまり、連携講座において、1年以上の臨床薬学先端実務研修・臨床研究（必修）を行い、同時に臨床に密接に関連した研究を行う体制が整備されている。実務に精通した問題解決能力のある臨床薬剤師として、大学病院をはじめとした高度先進医療を担う医療施設における臨床薬剤師や大学における臨床薬学研究者等として活躍できる人材の輩出を想定している。